

☆☆人の気持ちをつなげ、心身を健康にする笑い☆☆

笑いは、人間の心身に様々な効用をもたらすようです。医学博士・元日本医科大学准教授で「笑 医塾」主宰の高柳和江先生は、笑いについて以下のようにお話ししています。

「人が笑うと、体がリラックスしているときに働く副交感神経が刺激されます。ストレスホルモンの分泌が減り、鎮静効果がある脳内モルヒネが分泌されるなどして、脳の活性化、免疫力アップ、自然治癒力が高まるなどの効果があります。・・・笑いを引き出すコツは、自分を好きになること、楽しみを見つけることです。自分が笑うと笑顔が伝染するのです。笑顔で健康になりましょう。」また、「日常生活で実践できる"笑顔の力"を鍛える方法は、"1日5回笑って、5回感動しよう"です。」「"どんな大変な時も笑い飛ばせ"」と話していました。

笑う習慣のない人や忙しかったり、困難な状況があって険しい顔になったりする人は、まず**笑顔を作る習慣**から身に付けるとよいそうです。朝起きて鏡に向かって微笑む。夜寝る前にも微笑む。そして朝食、昼食、夕食の時に感謝をこめて「おいしい!」と笑顔になれば、これで5回クリアです。笑顔は、感動やときめきが作りますから、感動をする癖を付けましょう。笑顔は人から人に伝わります。今日も飛びっきりの笑顔で、生き生き暮らしましょう。

楽しく、安全に、笑顔で、残暑を乗り切りましょう。

<文責:所長>



*8月分の保育料口座振替日は、8月31日(木)です。 事前にご確認をお願いします。

:: 25 6

8月の歌

「うみ」

*保護者の方の勤務先及び勤務時間や住所等に変更があった場合は、職員にお知らせいただき、変更届を提出してください。



〇歳児:体調を把握しながら,水遊びを楽しむとともに水分補給や休息を十分にとる。

1歳児:保育者と一緒に、夏ならではの遊びを楽しむ。

2歳児:十分な休息を取りながら、保育者や友達と夏の遊びを楽しむ。

3歳児:水遊びやプール遊びの決まりを守りながら、夏ならではの遊びを楽しむ。

4歳児: 友達との関わりを広げながら、夏の遊びを楽しむ。

5歳児:自分なりの目標をもって、プール遊びや水遊びを楽しむ。

家庭連絡

- 〇水遊びやプール遊びをした日には、忘れずにプールバッグを持ち帰って洗濯し、次の日に持たせてください。
- 〇駐車場は、車の出入りが多く危険ですので、登降所の際は必ずお子さんと手をつないで歩いて きてください。
- 〇門と玄関の扉は、事故防止と室内温度維持のため、開けたらその都度閉めるようにお願いします。また、玄関の扉は、換気のために開けている場合もありますので、お子さんが一人で外に出ないように気を付けてください。
- ○怪我や破損・空気漏れの原因となりますので、登降所の際はビニールプールや水遊び用玩具に 触らないようにお子さんに声掛けをお願いします。





広原小 1 年生との交流会(7/6) まずは 準備体操がてら、『昆虫太極拳』でスタート!続いてドッジボール対決。さすが 1 年生は、ボールを投げる迫力が違うね。



避難訓練(7/14)放送をよく聞いて先生の指示に従い、無事全員避難できました。そのあとは、安全な花火の遊び方を教えていただきました。





夏祭りごっこ(7/20) きりん組・ぞう組(5歳児)の子どもたちが準備した出店コーナーで、みんな楽しく遊びました。夏祭りごっこのフィナーレは、おみこし行列。"ワッショイ!ワッショイ!"のかけ声で大盛り上がりでした。











